

**『二本松市水道事業ビジョン（素案）』に対する提出のあったご意見と
ご意見に対する市の考え方について**

No.	項 目 (ページ)	提出意見	提出意見に対する考え方
1	管路の耐震化 (P28～29)	具体的な計画を明確にすることで早急な対応につながる。	具体的な計画は、個別に策定する建設計画の実施計画の中で検討してまいります。
2	水道水の利用頻度 について (P39)	安全で安心しておいしい水を飲んでいただくために、水道施設の管理保全に努め、定期的に水質検査を実施しているが、漏水につながる恐れのある目に見えない管路の老朽化が気になる。	老朽管等の更新については、長寿命化を図りながら計画的に更新事業を進めるとともに、日常点検等により水道施設の適正な維持管理に努め、漏水等の事故防止と早期発見、修繕に努めてまいります。
3	水道料金について (P42)	普段の生活の中で節水は必要であるが、日々健康な生活を送るためには安全でおいしい水を水道で賄いたい。その結果、水道料金が占める生活費の比率が増すことは止むを得ないと考えるが、水道施設の管理や水質管理等並々ならぬ努力が必要であることを理解してもらうためにも、今後わかりやすく情報を公開するなど、広報活動が大切であると思う。	ビジョンの主要施策にもあるように、さらに「広報の充実」と「市民ニーズ」の把握に努め、分かりやすい水道事業の運営に努めてまいります。
4	動力費、電力費等の 経費削減 (P65)	動力費、電力費等の経費削減の項目の中に「新電力導入の検討」とあるが、小水力発電を含めた自主電源化によるコスト削減も含め検討すべき。	ご意見を参考に、小水力発電を含めた自主電源化については、市の新エネルギー推進施策の中で検討してまいります。
5	官民連携・PPP の検討 (P65)	官民連携・PPPの検討項目で、人口減少により財政基盤が弱体化していく遠い将来を見越し、老朽化していく水道管等の更新や新規水道管の布設等を考えるに、各地域でのコンパクトシティ化を都市計画で早期に取り組み、また官民連携や民営化等について先を見越して検討をすべき。	ご意見を参考に、地域の実情等を鑑み、社会経済情勢の変化や各施策との調整を図りながら必要に応じて検討してまいります。

No.	項目 (ページ)	提出意見	提出意見に対する考え方
6	健全経営の推進 (P65)	「検討」という言葉が目立ち、方向性が分からない。ただ、検討したという事実だけで終わらせるのではなく、検討の内容や結果の公表が必要ではないか。	検討した内容やその結果については、70 ページに記載のある、PDCAサイクルにより計画の見直しをしていく中で公表してまいります。
7	用語解説 (資-1)	資-1PDCAサイクルに誤字がある。パブリック・コメント自体は、誤りを指摘するものではないはずだが、このような些細なミスがあると示されている数値データ等は問題ないかといった疑念が生じる。	誤字については、表記を「Action」に修正しました。 また、数値データ等につきましても再確認しました。
8	その他	時期的に難しいのかもしれないが、水道法の改正が成立したのだから、採否は別として、広域化や民間企業の参入にもう少し触れる必要があるのではないか。	今般の水道法の改正については、今後の制度動向を注視しつつ、経営基盤強化のための施策については、今後必要に応じてビジョンの見直しをしていく中で検討してまいります。